辰巳会会員便り

渡邉　藏六

前略　父の渡邉黎弼（昭和四十五年三月二十九日没）・母のチカ（昭和五十八年三月二十三日没）に就き、生前の数々の御厚情まことに感謝のほかございません。私こと、鈴木商店のこと、鈴木よね女史・鈴木岩治郎・鈴木岩蔵・金子直吉・柳田富士松・西川文蔵等の名はものの本で知る程度で、その内容は殆どわかりません。貴誌辰巳会だよりを拝読する度に、その結束の強さを思います。御送付くださいまして、まことに有り難うございました。　草々

平成八年四月二十七日

北尾　素子

梅雨入りも間近くなってまいりました。花菖蒲やあじさいの美しい季節を素晴らしい自然に恵まれた有難さをしみ〳〵感じる此頃、皆々様には御多忙な日々をお過しの事と存じ上げ、お世話様にあずかります事を心よりお礼申上げます。

又この度は、全国大会の記念写真御恵送賜りうれしく拝受させていただきました。

古典のゆたかさあふれる宇治川のほとり花やしき浮舟園の、なごやかな会に参加させていただきましたよろこび、思い出を持たせていたゞくこの写真を大切に〳〵いたし度く心よりお礼申上げます。有難う御座いました。

どうぞ皆々様には、お体くれ〴〵も御自愛遊ばします様、心より御健康をお祈り申上げます。乱筆おゆるし下さいませ。

小原多喜子

ぐずついた梅雨もやっと今は梅雨明けとなり、今日はこの夏一番の三十六度の暑さになりました。先日は辰巳会のスナップ写真お送りいたゞき有難うございました。楠瀬様の方へも早速御礼差上げておきました。又来年の例会を楽しみにしております。何分にも八十歳になりましたので会に出る度、昔の鈴木商店につとめていた若かりし日を思い出します。何かの機会がないとなつかしい神戸まで出られません。身体にきをつけて元気で出席できる日を楽しみにしています。乱筆乍ら一筆御礼まで申上げます。　かしこ

足立　せつ

新緑の美しい今日この頃でございます。先日は全国大会に御親切に御招きいただきまして御陰様で素晴らしい一日を与えて頂き誠に有難うございました。厚顔にとは存じながら参加させていたゞきましてよかったと感謝致して居ります。その節、会長のお話の中で、樺太のツンドラ、トナカイのお話を伺いまして、亡き父もゴム部門でございましたから、ボルネオ方面のゴム、木材の買付けに行かれた先輩方の話をしておりました。北から南迄活躍されていらしゃいました大きな会社であったことを再認識した次第でございます。父の最初の就職が日沙商会でございましたので、鈴木商店が印象深く偉大であり、且つ大変ファミリー的な暖かみのある会社であったと生涯誇りに思っておりました。

早速に当日の写真を御送付賜りまして有難うございました。皆様の御健康と御発展を御祈り申上げます。　御礼迄

五月三十日

横山　康子

拝啓

とろけてしまいそうな酷暑の日々、お元気でいらっしゃいますか。

この度は父、田中清逝去に際し早速にお心遣いをいたゞきましてありがとうございました。八月四日満中陰法要を済ませ、もうそんなに日が経ったかと改めて驚いているところでございます。

父は今年一月頃まで、一人で阪急電車に乗り大阪の会社まで週に二、三回は通勤しておりましたが、五月十四日、身体が痛いと病院へ参りましたら胸椎十一、十二番、腰椎一、二番と四本続けて圧迫骨折（骨粗鬆症）していることが判り入院となりました。検査の結果は高齢にしては頭部、内臓などはこれといって心配なところはなく、骨折の痛みさえおさまれば、ということで約三週間、その間にギャッジベッド、ポータブルトイレ、訪問入浴サービスの手配など、いつでも家へ帰れるよう準備し、歩行のリハビリも三回すませ、念願の退院を致しました。

家では杖をついてトイレへも食卓へも自分から行く意欲も見せていたのですが、徐々に老衰していき、再入院の時はもう意識がなく、六月二十一日夜明け前、静かに呼吸が止りました。

病院は加茂川畔にあり、ロビーからは桜並木の向うに府立植物園の森が見え、「いつか車椅子を用意して（疲れたらいつでも坐れるように）植物園へ行きましょう！」と筆談したメモが残っており、それが果たせなかったことがとても残念ですけれど、わずか四十日足らず、特別苦しむこともなく九一・四歳を明治、大正、昭和、平成と誠実に精一杯生き、全く自然に安らかな最期を看取ることができて本当に良かったと思っております。

皆様には生前の御厚情をありがたく感謝し、心より御礼申し上げます。何か縁りのものをと父の書から掛軸の一幅をテレホンカードに作成しました。どうぞお納め下さいますようお願い致します。

先ずは書面にて失礼させていただきますことをお許し下さいませ。

八月五日　母に代りまして

御弔電をありがとうございました。

只今母は暑さと疲れで発熱、検査入院中です。

どうぞお元気でお過し下さいます様お祈り申し上げます。

物　故　者　名　簿

（「たつみ誌」59号以降）

辰巳会事務局

御芳名	死亡年月日	享年	鈴木時代の職歴又は現職
拓植五百刀	平成7年1月21日	93歳	本店米油部
小松豊秀	平成7年2月	89歳	下関支店米肥部
牧野豊二	平成7年8月29日	87歳	小樽支店
溝口泰造	平成7年10月28日	98歳	国際汽船㈱
古本秀二	平成7年	94歳	下関支店他
橋本仲介	平成8年1月2日	84歳	日商岩井㈱
田中清	平成8年6月22日	91歳	本店外国通信課